

岐阜県における児童生徒の学習状況調査（平成22年4月実施）

1 実施の概要

(1) 目的

- ・児童生徒一人一人の学習状況及び学習や生活に対する意識等を把握し、一人一人の学力が確実に向上するよう指導の改善を図る。
- ・学力向上を図るための各学校、各市町村教育委員会、県教育委員会の指導の改善及び施策等の改善に資する。

(2) 対象及び実施状況

- ・県内の公立・私立・国立すべての小・中学校を対象（特別支援学校の小学部、中学部に在籍し、小学校、中学校に準ずる教育課程で学習している児童生徒を含む）

ペーパーテスト

小学校（第5学年）：国語、社会、算数、理科

・実施学校数：378校（100%） 実施児童数：第5学年 20,184人

中学校（第2学年）：国語、社会、数学、理科、英語

・実施学校数：191校（96%） 実施生徒数：第2学年 19,811人

質問紙調査

小学校（第5学年）、中学校（第2学年）

児童生徒の学習に関連する意識や生活の様子等について、ペーパーテスト実施児童生徒から、無作為に抽出して調査する。

(3) 実施期日等

- ・平成22年4月20日（火）～4月23日（金）までの期間
（各学校において日程及び実施時刻を定めて実施）

(4) 調査の内容及び児童生徒の学習改善等

ペーパーテスト

ア 出題範囲

- ・小学校5学年は第4学年の学習内容、中学校第2学年は第1学年の学習内容

イ 出題内容

- ・各教科とも学習指導要領に示された目標及び内容を踏まえ、平成20年度までの本調査から明らかになった課題を考慮しながら、内容や分野及び観点別学習状況の各観点（「関心・意欲・態度」の観点は除く）に偏りが無いよう出題

ウ 個々の児童生徒の学習改善

- ・実施後、「個人カルテ」を児童生徒一人一人に配布し、自己の学習状況を基にこれからの学習のめあてをもたせるなど、学習の改善を図る働きかけを行う。

エ 各学校の授業改善

- ・実施後、県全体の結果を参考にして自校の結果を分析し、指導計画や指導方法の改善を図る。

質問紙調査

ア 設問の内容

- ・「自分自身や自分の行動に対する意識」や学校、家庭、地域における「生活習慣」にかかわる状況（家庭での保護者とのコミュニケーションの状況等も含む）について
- ・「学習に対する意識」や学校、家庭における「学習習慣」にかかわる状況について

イ 個々の児童生徒の学習・生活改善

- ・実施後、児童生徒や保護者と個別懇談を行い、質問紙調査の結果とペーパーテストの結果とを関連させて示すなど、学習や生活の改善を図る働きかけを行う。

ウ 各学校の指導改善

- ・実施後、県全体の結果（ペーパーテストの結果との相関分析を含む）を参考にして自校の実態を分析し、学習指導や生活指導の改善を図る。

(5) 調査分析の方法

ペーパーテスト

- ・設問ごとの県全体の正答率を基に結果を分析し、指導の改善の方向を明らかにした。
- ・全調査の中から、無作為に解答例を抽出し、結果分析の参考とした。

質問紙調査

- ・設問ごとの県全体の回答状況を基に結果を分析し、学習に関連する意識や意欲、家庭学習への取組状況、生活の様子等の傾向と今後の改善の方向を明らかにした。
- ・設問ごとに回答状況とペーパーテストの結果との相関を分析し、今後の指導の方向を明らかにした。